

徳島文理大学通信



徳島文理大学
アドミッションズ・オフィス
徳島市山城町
〒770-8514
☎0120-602-455

保健福祉学部 看護学科開設予定

認可申請中



平成20年4月、徳島キャンパスの保健福祉学部看護学科を開設する。
近年、ますます進む少子・高齢社会において、豊かな高福祉社会の実現をめざし、人々の健康の増進、住民の生活の質的向上、保健医療の基盤の充実や保健福祉サービスの整備が不可欠となっている。とくに、医療の高度化や多様化が進む中、福祉分野と連携した

ケアの提供や実践に対する期待や要求が一段と高まってきており、健康を支援する専門職の養成が大きな課題となっている。
こうした社会のニーズに応えるため、保健、福祉の分野の総合的教育研究をめざして、人間福祉学部から保健福祉学部へ名称を変更した。人間福祉学科に加え、健康と福祉の向上に貢献できる質の高い看護専門

職の養成を行う、看護学科の開設を予定している。
看護学科の入学定員は80人で、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格取得をめざす。看護師および保健師国家試験受験資格対象者は全員。助産師国家試験受験資格の取得対象者は、20人程度とし、2年次進級の際、各自の希望、適性、学業成績等を勘案して選抜することになる。いずれにしても、学士課程で看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格が取得できる。
本学は、総合大学として従来から薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士、臨床心理士、音楽療法士などの養成課程を置き、コメディカル教育の推進に努めてきた。実践科学としての看護教育を推進する上においても、この特質をいかしていきたく。たとえば、カリキュラムの中に、「健康管理概論」、「臨床薬理学」、「臨床心理概論」などを設け、関係する学科との連携を図る。また、

「糖尿病看護論」や「がん看護論」を設け、地域の健康・福祉に貢献できる看護専門職の育成に努めるようにしている。さらに、看護職員は、さまざまな人々に向き合う仕事であることから、柔軟に対応できる能力や豊かな人間性、高適度な倫理観を備えていることが大切であり、「看護倫理学」等をおとし、人間教育にも力を入れている。さらに、臨地実習でももちろんのこと、演習科目「臨床看護実践演習」でも、しっかりと実践力をつけた看護専門職の養成に努めたいと考えている。

「糖尿病看護論」や「がん看護論」を設け、地域の健康・福祉に貢献できる看護専門職の育成に努めるようにしている。さらに、看護職員は、さまざまな人々に向き合う仕事であることから、柔軟に対応できる能力や豊かな人間性、高適度な倫理観を備えていることが大切であり、「看護倫理学」等をおとし、人間教育にも力を入れている。さらに、臨地実習でももちろんのこと、演習科目「臨床看護実践演習」でも、しっかりと実践力をつけた看護専門職の養成に努めたいと考えている。

桜の花の咲く青空のもと、平成19年度入学式が4月6日(金)徳島キャンパスで、8日(日)香川キャンパスで多数の関係者が出席する厳粛な雰囲気の中、それぞれ盛大に行われた。
明るい笑顔の中に緊張の表情を漂わせた新入生を前に、桐野豊学長が入学許可を宣言し、「本学は、知の力を身につけるとともに、他者を思いやる心を養い、よりよい社会を築くこ

とに貢献できる人材を養成していきたい。今日の希望に満ちた気持ちを持ち続けて欲しい」と式辞を述べ、新しい門出を祝福した。新入生を代表して、徳島キャンパスでは短期大学の白土公子さんが「21世紀の社会で期待され、活躍できる能力を培います」と宣誓し、香川キャンパスでも、工学部臨床工学科の野口準一さんが「学業に精進すること誓います」と宣言した。
また、村崎正理事長は「女も独り立ちができねばならぬ」という信念を貫いて

た学祖村崎サイイ先生の女子教育に注いだ情熱と学園創立112年の歴史と伝統を有する本学の「自立協同」の建学精神を説き、有意義な学生生活を送るよう、新入生を激励した。その後、音楽学部オーケストラの演奏に合わせて全員が校歌を斉唱した。
新入生は徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて13114人。内訳は大学院・専門職大学院76人、専攻科25人、第3年次編入生69人、薬学部188人、人間生活学部

372人、総合政策学部57人、音楽学部26人、香川キャンパス83人、工学部101人、文学部89人、人間福祉学部42人、短期大学部186人。
来年度も引き続き公開講座を予定しているの期待していただきたい。

小・中・高校生の文字離れに歯止めをかけ、活字文化に親しむ手段のひとつとして、財団法人・日本新聞教育文化財団が全国的に展開している運動のことだ。
▼政治、経済、社会、文化、スポーツなどの記事をクラスの皆で選ぶ。それをディベートの素材にする。こうしたやり方を通じ生徒たちは社会への関心を高め、自分なりの意見や考え方を持たすようになる。そういった効果が期待できる。
▼大学生になったとしても、大いに新聞を読んでもいいと思う。勉学のためだけでなく、卒業後の進路を決めるうえでも、社会の動きに無関心であってはならないと考えるからだ。新聞を丹念に読めば、必ずや得るものがあるはずだ。NIE発祥の地であるアメリカでは大学生を対象としたNIE運動が展開されている。それだけ意義があると

平成19年度 入学式



ACANTHUS in Education
「教育に新聞を」という言葉をご存知のことと思う。



大学への新入生が経験する「高等学校から大学への移行過程」に関して、これまで以上に注意を払う必要があると考えています。一般的には移行過程は不安を伴うものであり、人はそれを乗り越えることによって成長すると考えられますが、強すぎる不安を放置するわけにはいきません。高校までの学びと大学での学びには本質的な差異があります。高校までは、少

量のよく整理された知識(正解のある問題)を理解することが目標ですが、大学では未整理の大量の知識の中から問題を発見したり、知識を整理したりする方法、あるいは、問題解決に必要な知識を見いだしたり、生産したりする方法を体得することが学びの目標です。いわば、高校までは受け身の学習ですが、大学では「自ら学ぶ、学ぶ方法を学ぶ」という主体的・能動的な学習者に変身する必要があります。高校から大学への移行過程に含まれている、この不連続性に戸惑って、立ちすくんでしまう新入生もいます。そこで初年次教育におい

とがその中心となります。さらに、主体的な学習者になるためには、学びのおもしろさに気づくことが極めて重要であり、そのためのきっかけとなるような機会をいろいろと設ける必要があります。

徳島文理大学では、これまで、各学部において入学直後に、新入生に対するオリエンテーションを実施して大学(および当該学部)について認識を深め、また、専門教育に必要な基礎学力を初年次のうちに修得して

において、極めて多様であり、また、各学部において入学直後に、新入生に対するオリエンテーションを実施して大学(および当該学部)について認識を深め、また、専門教育に必要な基礎学力を初年次のうちに修得して

を設け、「徳島文理大学の歴史と建学精神」、「大学」とは、「講義」しました。ついで、大学での学習スキルや学習習慣を体得させる講義や、大学卒業後の自分をイメージさせるキャリアプラン、ライフプラン作りを支援する講義を行いました。また、一般研究会と連携して、全学共通教育センターと語学センターでは、基礎学力の不足を感じている学生を強力に支援する体制をつくりました。

この講座の目的は、「大学は、知の拠点として地域を活性化する役割をもっている。」(東京大学総長小宮山宏氏・写真左)ことや、本学の学生や教職員が産業界のリーダーから直接グローバルな講演や討論を通じて

初年次教育の充実について

桐野 豊

また現在の大学では多様な形態の入学試験を行うことが推奨され、実行されています。そのため、新入生は、学習目的、学習習慣、学力、学習動機などの点に

育開発機構」を設置し、その中の一般教育研究部において、初年次教育カリキュラムの充実・改善を始めました。

今後、初年次教育カリキュラムをさらに充実するとともに、教員の教育力を一層向上させるためのFD(Faculty Development)活動や高校との連携による入学前教育にも取り組んで参ります。

平成19年度の新しい行事として、徳島文理大学公開講座を「むらさきホール」において開講した。この講座は、国際的にも活躍している日本を代表する学者、企業のトップを招いて4月から7月まで6回にわたり講演、討論等を行った。また、地元の飯泉県知事や企業のリーダーをコメントーターとして招き、討論に参加していただいた。

回	月日	演 題	役 職 名	講 師 名
1	4/20	世界の持続的発展と「課題先進国」日本の役割	東京大学総長	小宮山 宏
2	5/11	イノベーションとサービス・サイエンス	日本アイ・ピー・エム(株)顧問	丸山 カ
3	5/25	グローバル化と「人財」としての日本人	コーン・フェリー・インターナショナル米国本社取締役・日本担当代表取締役社長	橋本・フクシマ・暎江
4	6/8	日本経済の行方 日本医療の行方	(株)フジマキ・ジャパン代表取締役 東京大学大学院薬学系研究科客員教授 (株)ファストトラックイニシアティブ代表取締役	藤巻 健史 木村 廣道
5	6/22	女性の活力を生かす 人材再生への課題と挑戦	メリルリンチ日本証券(株)代表取締役社長 (株)経営共創基盤代表取締役 (CEO)	小林いずみ 富山 和彦
6	7/6	技術革新の中核を担う医薬品産業	アステラス製薬(株)社外取締役	江端 貴子

「新聞を読んで、起きろ! 文理大生」と。

グローバルな視点養う 公開講座閉幕

「各界トップと考える
世界-日本-徳島」



来年度も引き続き公開講座を予定しているの期待していただきたい。

来年度も引き続き公開講座を予定しているの期待していただきたい。

香川薬学部が香川大学医学部と 学術交流締結

7月13日(金)、本学香川薬学部と香川大学医学部が学術交流に関する協定を締結した。

当日は、本学の村崎正人理事長と香川大学田港朝彦医学部長による協定書への署名が、双方の関係者ら8人が出席の中行われた。

本学が香川大学と学術交流協定を結ぶのは初めてで、薬学・医学分野において全面的な協力体制を強化し、教育と研究の充実が図れるものと期待される。

この協定により、香川薬学部生の臨床実習の場の確保や、質の高

い学習環境を学生に提供できるようにする。

今後は、医学と薬学の最新研究情報を共有し、地域医療研究の総合拠点をめざすとともに、香川県民の健康と福祉の増進にも寄与したいと考えている。



平成18年10月、香川薬学部にて寄附講座「センカ創薬実践科学講座」を開設した。

寄附講座とは個人または団体の寄附をもつて基礎的経費を賄う講座等で、学部および研究科等の大学院組織等に教育研究を行う組織に設置されるものをさす。

寄附者であるセンカ・フーマシーとは平成16年4月より、既に新薬開発に向けての共同研究が開始されていた。当時センカが長年探索を続けてきた生理活性物質の構造決定が最終段階を迎えており、天然より単離された微量生理活性物質の最終的な構造決定を依頼された解析化学講座は、本学部に当初設置されていた。

センカ・フーマシーによる寄附講座を開設

香川薬学部



香川薬学部研究棟8階センカ創薬実践科学講座研究室

近年、薬物療法によって癌制圧をめざす創薬研究は目覚ましい進展を遂げているが、未だ副作用の少ない万能制癌剤の開発に至っていない。現在本寄附講座では有機化学を基盤として病気の治療・予防に有効な化学物質、例えば癌治療薬を開発・創製する科学研究等を行っている。特にリード化合物を天然有機化合物に求め、これより抽出・精製・構造決定・別途合成・活性試験を系統的に行うシステムを構築し、優れた活性物質の開発をめざしている。

これまで、文部科学省私立大学学術研究高度化事業・社会連携事業や経済産業省地域新生コンソーシアム事業などの支援を受けて産学官連携のもと機能性糖質の基礎・応用研究を推進してきた。これらの成果を基盤に四国を拠点とした大学発ベンチャーとして、バイオ技術による機能性糖質の開発・技術(知財)移転・製造・販売を目的に香川県からの支援を受けて大学発ベンチャー企業「自然免疫応用技術」を設立した。

今回開発した天然物素材(小麦醱酵抽出物)は、感染予防改善のための機能性食品向け、アトピーや乾燥肌を改善するスキンケア用品向けなど幅広く活用できる素材で、すでに高い評価を得ている。関連してバイオバイオビジネスコンベンション JAPANにおいて、四国

副学長 藤木教授が
亜州大学(韓国)の客員教授に

副学長兼薬学部教授の藤木博太先生が、亜州大学(韓国)医学部生化学・分子生物学講座の客員教授に任命された。期間は、2007年3月1日から2009年2月25日まで。

「安全・安心」「健康・長寿」の環境との共利・共生の基本理念のもと、さらなる製品開発、応用開発をめざす。

「糖質バイオ研究グループが
大学発ベンチャー企業
「自然免疫応用技術」を設立

人間生活学部 教授 柚源一郎

では初めての優秀賞を獲得した。今後は徳島文理大学、香川大学ほかとの連携による研究成果と産学官の技術開発組織を基盤に製品化した本素材の有効性をいかし、海外市場も視野に入れた展開を進める方向で、「安全・安心」「健康・長寿」の環境との共利・共生の基本理念のもと、さらなる製品開発、応用開発をめざす。

香川キャンパスに 神経科学研究所を 設置

脳の働く仕組みを理解し、脳の疾患を克服することは、21世紀の科学における重要な課題であると同時に、現代医療における緊急の要請でもある。また一般社会においても、脳についての関心は老若を問わず広く高まってきている。このような動向を背景として、平成18年に神経科学研究所が香川キャンパスに設立され、平成19年度より4つの

研究部門(神経生理学部門・組織病理学部門・神経生物学部門・神経薬理学部門)へ拡充された。幸いなことに同キャンパスには神経科学分野の研究者が多く集まっており、現在は、15人が香川薬学部と併任して活動している。

脳の疾患には、シナプス(神経細胞間のつなぎ目)における情報伝達の異常に起因するものが多く含まれている。たとえばパーキンソン病やアルツハイマー病のような神経変性疾患もシナプスの異常が原因となっており、発症するものであり、これらの病気を「シナプス病」と総称することができるとされている。シナプス病の病気を「シナプス病」と総称することができるとされている。シナプス病の病気を「シナプス病」と総称することができるとされている。

ことが期待される。とくに、脳に関連した創薬を達成していくことは、これからの薬学における重要な課題の一つである。

神経科学研究所では、脳の仕組みを研究することはもとより、これらシナプス病の発症する仕組みや治療法を究明していくことを目的として研究所員の努力を傾注していく。生化学、生理薬理学、組織学から行動科学と多彩な方法論を採用する研究者が参加して、それぞれの特質を融合しながら総合的に脳の問題に取り組もうとしている。これによって現代社会における健康の維持および疾病の克服に寄与できることを願っている。今後とも本研究所へ多大なご支援、ご鞭撻を切にお願いしたい。

4月からのメディアセンターの利用状況について

は、主として動画やWebデザインなどコンテンツを作成するための授業で利用されている。週あたり11コマの授業で247人の学生が利用している。

さらにヴァーチャルスタジオやスタジオ型講義室はメディアデザイン学科を中心に授業で活用されている。

メディアセンターの利用については、学生ポータルサイト等で紹介している。今後とも

メディアセンターが積極的
に活用できるよう利用環境
を整えていきたい。

5月10日(木)、徳島県立協町高等学校、第1回文化講座に桐野学長が参加

桐野学長が講師として参加した。「本物の学問にふれる(学際的領域)」と題されたこの講座では、まず協町高等学校長の阿部先生から基調提案があり、続いて桐野学長による基調提

案。その後、協町高等学校生2人が参加し、パネルディスカッションがなされた。

桐野学長からは、「大学について」「現在の科学の特徴と融合について」「教養を身に付ける」の4点についての話があった。高等学校まででは整理された少量の知識を確実に身につけることが重要である。大学では知報の中から何を受け取ればいいのかという学びの方向

法論なども学ぶこと。そのためには、現代の教養と呼べる情報収集あるいは発信するためのIT技術と世界の人とコミュニケーションを図るための英語能力が重要であると締めくくった。

※表I・表IIの計算期間は、平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
※表IIIは平成19年3月31日現在
※各計数は単位未満を四捨五入
※資金収入調整勘定…期末未収入金および前期末前受金を調整
※資金支出調整勘定…期末未払金および前期末前払金を調整

表I 資金収支計算書 (単位:百万円)

科 目	収入の部	科 目	支出の部
学生生徒等納付金収入	9,228	人件費支出	5,178
手数料収入	114	教育研究経費支出	1,998
寄付金収入	57	管理経費支出	764
補助金収入	1,614	施設関係支出	4,561
資産運用収入	298	設備関係支出	1,736
資産売却収入	0	資産運用支出	2,305
事業収入	199	その他の支出	2,051
雑収入	218	資金支出調整勘定	△204
前受金収入	1,376	次年度繰越支払資金	6,245
その他の収入	5,364		
資金収入調整勘定	△1,863		
前年度繰越支払資金	8,029		
収入の部合計	24,634	支出の部合計	24,634

表II 消費収支計算書 (単位:百万円)

科 目	収入の部	科 目	支出の部
学生生徒等納付金収入	9,228	人件費支出	5,184
手数料収入	114	教育研究経費支出	4,513
寄付金収入	223	管理経費支出	1,010
補助金収入	1,614	資産処分差額	434
資産運用収入	298	徴収不能額	0
資産売却収入	0		
事業収入	199		
雑収入	211		
帰属収入合計	11,887		
基本金組入額合計	△5,209		
消費収入の部合計	6,678	消費支出の部合計	11,141
		当年度消費支出超過額	4,463
		前年度繰越消費支出超過額	1,409
		翌年度繰越消費支出超過額	5,873

※表I・表IIの計算期間は、平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
※表IIIは平成19年3月31日現在
※各計数は単位未満を四捨五入
※資金収入調整勘定…期末未収入金および前期末前受金を調整
※資金支出調整勘定…期末未払金および前期末前払金を調整

平成18年度決算状況

※表I・表IIの計算期間は、平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
※表IIIは平成19年3月31日現在
※各計数は単位未満を四捨五入
※資金収入調整勘定…期末未収入金および前期末前受金を調整
※資金支出調整勘定…期末未払金および前期末前払金を調整

バンラデシュからの国費留学生(文科省) サハ・アチントさんを受入れ



文部科学省の海外留学生の奨学金を受け、徳島文理大学・薬学部・生化学教室・博士後期課程に9月から入学予定のサハ・アチントさんが来学している。多くの大学の中から、本学を選んでくれたということは大変に名誉なことである。サハさんは修士で既に論文が5報あり、母国では大学の講師も勤めるほど優秀な人物。4月から徳島大学の日本語学校に通い、日本語が話せるようになることと、3年間の大学生活を十分に楽しんでもらえると思う。彼は既に簡単な日本語をしゃべり、また漢字も少し覚えている。本学には国際交流グループがあり、文部科学省との窓口や徳島大学日本語学校への入学等で支援をしている。明るくて聡明な青年なので、サハさんを見かけたら、声を掛けてもらえたら、と思う。

ひろがる国際交流

香港城市大学が日本文化を体験

平成17年に本学と学術交流協定を締結してから、香港城市大学の学生が毎年文部において日本語・日本文化研修を行っている。3年目となる今年も6月25日(月)〜7月8日(日)までの2週間、日本語専攻の学生16人が香川キャンパスにおいて研修を行った。日本語・日本文化研修プログラムに従って、午前は日本語の文法・表現を学ぶクラス、午後は日本文化体験というところで、うどん打ち体験、NHK見学、浴衣の着付け、華道体験などを行った。香川県内だけでなく、徳島県では鳴門・渦の道や四国八十八カ所の霊山寺見学、藍染めや阿波踊り体験なども行った。

昨年この研修に参加した香港城市大学学生の感想を紹介する。「私には初めての外国で日本へ来たことが一度もありませんでした。日本の生活と文化は香港とは全然違うと思います。寮の生活は初めてです。この生活はとてにぎやかです。毎晩友達と一緒に話して、デザートを食べ

楽しいです。時々、晩ごはんを食べてから近くを散歩します。日本の夜は暗くて静かで、涼しいです。その感じが好きです。そして、日本の料理がおいしいと思います。特に朝ごはんはとても栄養があります。例えば、野菜や肉がたくさんあります。私は香港で毎日ケークやパンだけを食べています。何でも食べない時もあります。ですから、日本のごはんは健康的だと思っています。そして、日本へ来てから毎日お世話をしました。ありがとうございます。」



この研修中いろいろな体験をしました。例えば、生け花や浴衣を着ることをしました。たくさん日本の伝統的な文化が分

海外研修(カナダ・檀國) 海外研修生・留学生募集(ヨーロッパ・韓国)



私たちが、カナダで英語研修中です!

7月21日(土)〜8月13日(月)の24日間、本学の学生11名(第13回英語スピーチコンテスト最優秀者2名を含む)がカナダで英語研修を受けています。午前中は姉妹校のランガラ大学で英語の授業、午後はキャンパス外でさまざまな課外活動に参加、夜はホームステイ先でファミリーとの交流、と充実した毎日を送っている。

交換留学はこんなにお得!

本学の協定校へ留学する場合、1年間の交換留学制度を利用すると、留年せず卒業できるばかりでなく、留学先大学の授業料や滞在費が免除になる特典がある。現在、この制度を利用して、人間生活学部3年生の宮田佳奈さんが韓国の檀國大学で学生生活を送っている。宮田さんのレポートを紹介しよう。

「日本は学園祭シーズンという秋ですが、ここ韓国では今の季節が学園祭のシーズンです。私の在籍している檀國大学も5月15日(火)〜17日(木)に学園祭が開催されました。日本みたいに、学科やサークルごとにお店を出し、ゲームを催したり食べ物や飲み物を販売したりします。日本語学科はたこ焼き・お好み焼きなどの日本の食べ物や韓国の食べ物を販売していました。昼間はどのお店も食べ物などを販売しているのですが、夜は一軒してお酒が飲めるようになり、それぞれのテントでみんなどか飯を食べながら自分たちが楽しむのです。この点が日本とは大きく違い、初めはびっくりして戸惑いましたが、この違いによって改めて今私は韓国にいるんだな、と実感することができました。おそらく留学をしていなかったら、他国の学園祭を楽しむことはできなかったでしょう。いい思い出もできなかったでしょう。韓国の色々な行事に実際に参加することにによって日本との違いに気づき、より韓国について知ることができるようになりました。機会があれば、ぜひ皆さんも参加してみてください。」(本学ホームページより抜粋)

来年3月からの留学生を募集しているので、希望者は国際交流グループまで問い合わせてください。

英語スピーチコンテスト結果



英語スピーチコンテストを終えて

最優秀賞 人間生活学部児童学科2年 井野 雅也



このコンテストは、「やりがい」のあるコンテストです。5分間のスピーチの原稿を、テーマにそった内容で考えなくてはならず、しかも英語で書かなければならず、原稿が完成したら発音練習や原稿の暗記もなくてはならないのです。授業の課題やバイト、部活に加え、この作業をこなすには相当な努力が必要でした。しかし、それら乗り越え舞台の上でスピーチした時の感動は今でも忘れることができません。ぜひ皆さんにも同じ経験をしてみたいです。「やってみないと何と始まりません! やってみたいなら意外な結果が出てくることもある。」僕はそれを身をもって体験しました。

また、原稿の添削や発音練習に当日まで付き合っていた先生方に心から感謝したいと思います。先生方の指導のおかげで、今回素晴らしい結果が出せました。本当にありがとうございます。

7月21日(土)から約3週間、カナダのランガラ大学での語学研修が始まりました。そこでの経験をこれから学生生活に役立てていきたいです。

第1回 同時通訳 8日間 集中講座 受講生募集

平成19年6月7日(木)、徳島キャンパスアカンサスホールにおいて第13回英語スピーチコンテストが開催された。今年のメインテーマは「地域社会の中の私」。両キャンパス合わせて23名の学生が熱弁を振るった。

「How can you help old people in your community?」

◆入賞(4名)
難波 聖治(人間生活学部 児童学科 2年)
門屋 智美(文学部 英語 3年)
米言語文化学科 3年
河野 梨沙(文学部 英語 2年)
米言語文化学科 2年

◆最優秀賞(2名)
井野 雅也(人間生活学部 児童学科 2年)
部 児童学科 2年
[What I learned from camp activity]
辻田 聖子(文学部 英語 2年)
米言語文化学科 2年

厳正なる審査の結果、最優秀賞(2名)は、夏に開催される夏期カナダ英語研修(24日間)に招待される。



近年、日本だけではなく、世界中から四国八十八カ所(四国遍路)についての関心が高まり、遍路を体験したい外国人の数も増加している。

この英語版の作成にあたっては、アイビット・モートン講師がアドバイザーとして参加し、全体の英訳や四国遍路への「推薦文」を書いた。さらに9月には、英語版のガイドブック(有料)も完成する。この2つは、四国遍路の素晴らしさを世界に発信する貴重な資料として期待されている。

英語版お遍路マップ発行

モートン講師が協力

しかしながら、外国人向けの実用的な資料、特に地図やガイドブックは、今まで存在しなかった。地図を専門としている武揚堂出版



TEL: 089-602-8660

平成19年度 府県別保護者会日程

Table with 4 columns: 支部 (Branch), 開催日時 (Date/Time), 会場名 (Venue Name), 会場 電話・住所 (Venue Phone/Address). Lists dates and venues for various prefectures like Tokushima, Aichi, Kochi, Osaka, etc.

平成19年度保護者会・後援会の役員会が6月4日(月)午前10時から、徳島キャンパス・国際会議場で役員75人が出席して開催された。

保護者会・後援会

平成19年度事業計画・予算案を審議し決定した。改選された新役員は次のとおりである。(敬称略)

- 〈保護者会〉
会長 田村正治(新)
副会長 松尾修(再)
監事 稲木紀彦(新)
田中正勝(新)
大知由明(新)
神崎千寿(新)
〈後援会〉
会長 中西文夫(再)
副会長 佐藤徳次(再)
神田 睦(再)
四宮 肇(再)
福島誠浄(再)
真鍋克俊(再)

- 平成19年
4月10日(火) 5限 「徳島文学」
4月17日(火) 5限 「徳島文学」
4月18日(水) 3限 「徳島文学」
4月19日(木) 4限 ライフェルト名誉教授公開講座
4月20日(金) 18:00 徳島文理大学公開講座(小宮山宏氏)



おどる国文祭

10月27日(土)より11月4日(日)の9日間、第22回国民文化祭・とくしま2007(愛称・おどる国文祭)が開催され、多種多様な行事が実施される。

そのなかで、音楽関係の主要な事業である「吹奏楽の祭典」と「合唱の祭典」および「オーケストラの祭典」の3事業を本学の「むらさきホール」で実施する。



音楽会等主要行事一覽(むらさきホール等)

四国霊場第七十五番札所総本山善通寺 巡礼コンサート 四国キャンコ 6月16日 音楽学部4年 井上 智映子

国家試験結果
◆薬剤師国家試験
◆管理栄養士国家試験
◆社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

キャリア・サポートについて

昨年度の本学の就職内定率は94・4%と、ここ4年

間は景気回復や団塊世代の退職等もあり、順調に上昇を続けてきた。大学に寄せられる求人数や求人数の増加はもとより、ネット上での求人も多く、就職する学生にとっては好ましい状況にある。しかし一方では求人はますます早期化し、雇用形態は正社員のみでなく多様な非正規社員の採用形態も増えている。さらによい人材を獲得したいという厳選採用の基本はあまり崩れていない。さらに、理由はともかくとして、せっかく就職しながら大学新卒者の3年以内に離職する割合が平成15年春就職者では35・7%にもなっている。

(平成19年版青少年白書) こうした状況に対応するため、メディアセンターの完成を機に、これまでの就職支援を一層充実し、入学当初からキャリアについての関心を高め認識を深めることを意図して、これまでの「就職部」から新たに「キャリア・サポートグループ」として本年度よりスタートしている。新組織では、これまでの就職支援はもとより、入学時からキャリアガイダンスを実施することとし、あわせてインターシップの推進にも取り組むこととしている。

これまでに大学・短大1年生には「働いて何だろう? コミュニケーションの重要性」と題し、2年生には「社会で求められる力って何だろう?」と題したキャリアガイダンスを実施したのをはじめ、3・4年生や短大生を中心に、従来より実施してきた学部学科別就職説明会や就職ガイダンスの継続開催、公務員説明会等の各種説明会での情報提供、各種就職模擬試験の実施等を進めてきた。

今後とも従来の各種セミナーに加え、就活サイト活用セミナーやOB・OG就職懇談会等の新たな機会を設けるべく計画を進めている。

学生の皆さんにはこうしたセミナーに積極的に参加し、ぜひ新しい出会いや発見を積み重ね、自分らしい働き方や働く場所を見つけたいと思う。キャリア・サポートグループでは学生の皆さん一人ひとりに個別の親身な対応で相談に乗っている。連日多くの学生がキャリア・サポートグループに相談に来ていて、あなたもぜひ一度足を運んでみてほしい。

今後のセミナー等への皆さんの積極的な参加とキャリア・サポートグループでの出会いを期待している。



大学・短大1年生対象キャリアガイダンス



大学3年・短大1年生対象就職ガイダンス

音楽療法士として

平成18年度卒業生 坂下 遊



憧れの音楽療法士として働き始め、3カ月が過ぎました。現在、障害者施設・老人施設など数箇所の施設を掛け持ちして活動しております。まだ3カ月という短い期間ですが、毎日日本に貴重な体験をしています。

準備の段階からすべて自分一人で行う必要はないので、在学中の音楽療法実習とは全く訳が違います。初めは少し苦労しましたが、ギターを抱え、楽器、楽譜など大量の荷物を持って施設に向かいます。ひとつの施設で一日数回のセッションを行い、終わると報告書の作成、そして次の日の他施設でのセッションの準備に取り掛かる。そんな毎日の回りの回りの毎日です。

しかし最近やっと、実際に現場で働くからこそ大学で学んできた音楽療法の基礎となる部分が理解できた気がします。特に在学中、先生から言われた「データを取る大切さ」を身にしみて実感する出来事がありました。4月からの3カ月で結果が出ないと音楽療法を打ち切ると契約を交わした施設がありました。必ず結果を出さないと強気に出たものの、正直不安でした。私は、取れる記録という記録は全て取り、音楽療法を3カ月間行いました。その結果、なんと施設との契約を更新していただくことが決まりました。大きな理由はやはりデータでした。毎回

提出していた、詳しい記録の書いた報告書を見るだけで、普段音楽療法に携わっていない施設長などにも音楽療法を通して施設の利用者に変化があり、結果がでていることが明らかであると証明できたのです。在学中にはあまりピンと来ていなかったのですが、それほど重要なこととは思っていませんでした。先生が何度も何度も叩き込んでくださったおかげです。このように音楽療法の素晴らしさ、重要さが伝わるのが私にとって一番の喜びです。これからも大学で学んだことを生かし、音楽療法により幸せになれる人が増えるよう活動していきたいです。

全国各地で1000人を超える先生が誕生

—教員養成対策室—

「今どきめずらしいくらい、しっかりと人柄ですね」「文理大出身教師には、明るくて伸びやかな、子どもたちに好まれる共通したカラーがありますよ」

今年も全国各地の学校・幼稚園で1000人に余る卒業生が「先生」として憧れの教壇に立ち、子どもたちの豊かな成長を見守りつつ、希望に燃えた青春を過ごしている。

ここ数年間は団塊の世代が退職していく時期にあたり、全国の学校園では教育意欲に燃えた、若さあふれる新入教員、若さあふれる新人教員、とりわけ東京・神奈川・大阪など大量採用する都市部では、いかに優秀な教員を確保するか、その対策に関する関係者がおおむらの現況である。教員志望者にとっては正に千載一遇のチャンスといえる。けれど、何となくも教員採用試験のレベルはま

だまだ高い。遊んでいては教師になれない。だが、努力し頑張れば合格に手が届くのである。そこで教員養成対策室では豊富な経験と指導力をもった教師陣を総動員して教育養成対策講座を行ったり、模擬試験・模擬面接さらにはアカンサス教師塾などを実施している。豊かな人間性とすばらしい資質をもった文理大生が念願の教員となれるよう、一人ひとりの個性や希望に即して強力に支援している。

実習を終えて

人間生活学部児童学科4年 上村 裕三



母校である熊本県の小学校で2週間の実習をしまし

た。この小学校実習は、学生生活最後の実習でした。私は小学校教諭を志望しているのですが、今まで以上に気合を入れて入ったので、今までの実習とは違って、子どもたちの成長や、子どもたちの笑顔を見て授業を進めていくことができた。先生の手伝いの確かなアドバンスや子どもたちの積極的な姿勢により、少しずつ授業の形に近づいていくことができたと思います。指導案や教材作りなどにより帰宅するのが遅い日も



私は、4月から三越高松店に販売職として採用され、現在は、紳士服売場で勤務しています。最初は軽い気持ちで受験を決めたのですが、受験してみると、その内容は、思っていた以上に大変なものでした。正直、「面倒だな」とも思いましたが、結果はどうあれ、これを一杯やりました。自分自身の成長でき、今後に繋がる

先輩からの手紙

チャンス

文学部 文化財学科 濱口 新之助

株式会社三越 高松店 (販売職)

のではと、気持ちを切り替えて、できる限りの努力を行いました。百貨店という職場は、広く、そして深い商品知識が求められます。売場でももちろん、家で商品について勉強する毎日です。大変ですが、自分の可能性を広げるチャンスだと思いついて、毎日楽しく働いています。就職活動は、大変だと思いついて後悔しないよう一杯頑張ってください。結果はどうあれ、後には成長した自分があるはずですので、

自分の可能性を試そう

薬学部 医療薬学科 エーザイ株式会社 (MR) 吉田 広太郎



皆さんこんにちは、エーザイ株式会社の吉田広太郎です。今年入社したばかりの私は、今MRの卵として研修を受けております。研修では、たくさん同期とともにMR認定試験、自社製剤の社会人としてのマナーについて、研究授業は国語をさせていただきましたが、国語以外にも算数、理科、体育、図工と何れも子どもの前に立つ機会を与えてくださいました。もちろん最初は緊張してしまいましたが、先輩の丁寧な指導のおかげで、少しずつ進んでいくことができました。先生の手伝いの確かなアドバンスや子どもたちの積極的な姿勢により、少しずつ授業の形に近づいていくことができたと思います。指導案や教材作りなどにより帰宅するのが遅い日も

最後まで



人間生活学部 食物栄養学科 河野 恵子

4月から徳島県三好市立山城小学校の学校栄養職員として勤務しています。一生懸命に過ごしてきた数カ月間で、子どもたちの成長を身近に感じられることがとても嬉しく思います。思い返せば、就職について考え始めたのはちょうど1年前の今頃でした。学外学習に始め、実際の職場での経験が私にとってよい刺激となりました。この頃から、学校栄養士をめざす気持ちが強くなりました。気が持ちは強くなったのですが、もう試験は目の前です。勉強が十分できているはずもなく半分あきらめていたのですが、わずかな奇跡を信じて受験し、幸運にも合格できました。この経験から私は、何事

にも前向きに取り組む最後まであきらめないことが本当に大事だと感じました。これからさまざまな試験に挑むみなさん、自分を信じて最後まで全力を尽くしてください。みなさんのご活躍を心からお祈りしています。

一人で悩まないで

短期大学部 保育科 伊東 千賀



私は4月から徳島市立富田保育所の2歳児の担任として働いています。1日が目まぐるしく過ぎ、あっという間に3カ月が過ぎようとしています。毎日が新鮮で、子どもたちに教えられながらとても楽しく過ごしています。保育科での就職活動は、2年生の秋頃から始め、他の学科に比べ遅いスタートでした。就職活動ということにあまり実感が湧かないまま始めたので、1次試験に受かってからが大変でした。2次試験の面接や実技に向けて毎日集まって準備しました。就職部の先生に面接カードの書き方や面接のことを聞きに行ったり、保育科の先生方に実技を休みの日で見せていただいたりしました。どうしたら良いかわからなかった私にとって、とても心強かったです。皆さんもぜひ悩んだ時は先生方が親身になって考えてくださるので一人で悩まずに相談したら良いと思います。毎日、私は先輩方に教えてもらいながらですが頑張っています。皆さんも学生生活の一日一日を大切に頑張ってください。

「徳島文理学」開講

アイデンティティ・所属感・連帯感の醸成を図る

大学では、知識の伝達だけでなく重視する教育姿勢を改め、学生自らが考え、行動に移す意欲を醸成し、社会で生きて役立つ思考と行動力を身につけた、社会に貢献できる有為な人材の育成を図りたいと願っている。

そのために今年度、徳島・香川両キャンパスには「全学共通教育センター」が新設された。

このセンターは、①入学者に共通に持ち合わせる場を設定する。②大学の教育を享受するために必要な学力を得るための学習の場を個別に提供する。

という目的をもって、「徳島文理学」は①の分野に該当する教育内容となっている。これは、徳島文理のアイデンティティや大学への所属感、連帯感の醸成を図るとともに、人間関係の円滑化を図るためのコ

ミュニケーション力を磨いて大学生活を充実させるといふ狙いをもって行われるものである。

1年生の前期に15回設定され、必修科目となっている。1年生全員が一堂に会して15回の内5回(香川キャンパスは2回)は共通した講義を受ける。

講義内容は、1回目「徳島文理大学の歴史と建学精神」(講師 村崎理事長)。2回目「大学とは」(講師 桐野学長)。3回目は「生徒」から「学生」へ大学における学びとは(講師 藤岡教育・研究支援ユニット長)。4回目は日本の各界著名人による6回シリーズで文理大学公開講座「各界トップと考える世界—日本—徳島—」を受講。5回目は「働いて何だろう—コミュニケーションの重要性—」(就職コンサルタント 福島直樹氏)ということを実施した。

なお、6回目から15回目までは、原則として日本語によるコミュニケーション力の向上をめざして各学部・学科・クラス別にセンターから示されたモデルシラバスを参考にしながら日本語の表現力を養う授業を行った。

諸先生方や学生の真摯な取り組みのお陰で、所期の成果も得られたが、反省を踏まえさらなる充実を期したいと思っている。

文学部に、この4月から図書館司書の養成課程が認められ、香川県内では唯一の課程を持つことになった。従来より、受験生そして在学学生から同課程の設置に対する熱い要望があり、このたびの設置となった。図書館司書は、必修の12科目、選択の2科目を履修すれば、本学が卒業時に資格を認定する。香川キャンパスには、西日本有数の施設と設備、そして蔵書数を誇るリサーチアンドメディアライブラリーがあるため、この図書館をフルに活用して実務的な力量を体得することができる。図書館司書は、図書の貸出業務や分類と整理だけが主なる仕事ではなく、訪問者の声を聞きながら、その要望にこたえる書籍や資料を推薦できる力量も求められる。本学では、内容まで含めた書

籍に対する深い理解をもった図書館司書を一人でも多く育てて社会に送り出したと考えている。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

の共有財産として使用することに大変意義があると考へ、本学はこの宣言に同意した。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

本学は、平成20年度入試から、過去に出題された入試問題を使用することができ、「入試過去問題活用宣言」大学に参加する。これまで、それぞれの大学入試に使用された入試問題は膨大な数で、その中には、良問が蓄積されており、これらの入試問題をお互いに

入試過去問題活用宣言大学に

平成20年度入試概要

入試種別

(1) AO入試
全学部で実施
応募は、原則として、通年で可能

(2) 自己推薦入試
薬学部・香川薬学部・短期大学部を除く全学部で実施
応募期間は次の通り
I期 9月1日(土)～9月26日(火)
II期 平成20年2月16日(土)～3月17日(月)

(3) 推薦入試
I期 11月3日(土)
香川薬学部を除く全学部
II期 11月4日(日) 香川薬学部のみ
12月8日(土)
薬学部・工学部・文学部のみ(福岡・大阪・東京で実施)

(4) 一般入試
前期A日程 平成20年1月30日(火)
前期B日程 平成20年1月31日(水)
後期A日程 平成20年2月19日(火)
後期B日程 平成20年3月7日(金)
後期C日程 平成20年3月25日(火)

平成20年度入試からの変更点

- 新たにAO入試を導入し、受験生の個性をいかして受験できる入試をはじめました。
- 薬学部・工学部・文学部で推薦入試II期(福岡試験場・大阪試験場・東京試験場のみ)をおこないます。
- 推薦入試、一般入試科目を検討し、薬学部・香川薬学部・音楽学部・短期大学部音楽科で変更になりました。
- 大学入試センター試験利用入試が前期・後期(2回)からI期・II期・III期(3回)になりました。

インターネットによる出願

インターネットによる出願ですべての出願日・会場での受験が可能になります。詳しくは、本学のホームページへアクセスしてください。

<http://www.bunri-u.ac.jp/>

合否結果もインターネットを利用して確認することもできます。



わが国のインターンシップは不況が続いた1990年代後半、大きな社会問題となった若年者の雇用問題に対処するため、国の政策課題として進められてきた経緯がある。導入期から約10年を経過した現在は多くの大学がインターンシップをキャリア教育の一環として正課に組み入れ、また都市部の企業では自社のPRや将来の求人念頭において広報活動としてインターンシップを積極的に取り入れている。

一方、地方でのインターンシップの受け入れは地方公共団体や金融、マスコミ等が中心である。受け入れる理由としては地域貢献を挙げる企業が多く、インターンシップを受け身でたら

えている傾向がある。しかし近年インターンシップが定着、拡大するにつれて地方においても徐々にではあるがそれぞれの企業独自のメリットを考えて受け入れる企業も増えている。この様にインターンシップは企業、大学のそれぞれ事情によりますます拡大する傾向にあるが、企業側のインターンシップに対する共通の考え方としては以下のようなものである。

①インターンシップはできる限り多くの学生に企業の実態を理解してもらうことが目的。

②インターンシップと採用とは直接関係はない。(参加する条件に合ったものがある)。

③学生はどのようなことを知りたのか、どのような経

科目、選択の2科目を履修すれば、本学が卒業時に資格を認定する。香川キャンパスには、西日本有数の施設と設備、そして蔵書数を誇るリサーチアンドメディアライブラリーがあるため、この図書館をフルに活用して実務的な力量を体得することができる。図書館司書は、図書の貸出業務や分類と整理だけが主なる仕事ではなく、訪問者の声を聞きながら、その要望にこたえる書籍や資料を推薦できる力量も求められる。本学では、内容まで含めた書

籍に対する深い理解をもった図書館司書を一人でも多く育てて社会に送り出したと考えている。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

の共有財産として使用することに大変意義があると考へ、本学はこの宣言に同意した。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

本学は、平成20年度入試から、過去に出題された入試問題を使用することができ、「入試過去問題活用宣言」大学に参加する。これまで、それぞれの大学入試に使用された入試問題は膨大な数で、その中には、良問が蓄積されており、これらの入試問題をお互いに

入試過去問題活用宣言大学に

平成20年度入試概要

入試種別

(1) AO入試
全学部で実施
応募は、原則として、通年で可能

(2) 自己推薦入試
薬学部・香川薬学部・短期大学部を除く全学部で実施
応募期間は次の通り
I期 9月1日(土)～9月26日(火)
II期 平成20年2月16日(土)～3月17日(月)

(3) 推薦入試
I期 11月3日(土)
香川薬学部を除く全学部
II期 11月4日(日) 香川薬学部のみ
12月8日(土)
薬学部・工学部・文学部のみ(福岡・大阪・東京で実施)

(4) 一般入試
前期A日程 平成20年1月30日(火)
前期B日程 平成20年1月31日(水)
後期A日程 平成20年2月19日(火)
後期B日程 平成20年3月7日(金)
後期C日程 平成20年3月25日(火)

平成20年度入試からの変更点

- 新たにAO入試を導入し、受験生の個性をいかして受験できる入試をはじめました。
- 薬学部・工学部・文学部で推薦入試II期(福岡試験場・大阪試験場・東京試験場のみ)をおこないます。
- 推薦入試、一般入試科目を検討し、薬学部・香川薬学部・音楽学部・短期大学部音楽科で変更になりました。
- 大学入試センター試験利用入試が前期・後期(2回)からI期・II期・III期(3回)になりました。

インターネットによる出願

インターネットによる出願ですべての出願日・会場での受験が可能になります。詳しくは、本学のホームページへアクセスしてください。

<http://www.bunri-u.ac.jp/>

合否結果もインターネットを利用して確認することもできます。

インターンシップについて

わが国のインターンシップは不況が続いた1990年代後半、大きな社会問題となった若年者の雇用問題に対処するため、国の政策課題として進められてきた経緯がある。導入期から約10年を経過した現在は多くの大学がインターンシップをキャリア教育の一環として正課に組み入れ、また都市部の企業では自社のPRや将来の求人念頭において広報活動としてインターンシップを積極的に取り入れている。

一方、地方でのインターンシップの受け入れは地方公共団体や金融、マスコミ等が中心である。受け入れる理由としては地域貢献を挙げる企業が多く、インターンシップを受け身でたら

えている傾向がある。しかし近年インターンシップが定着、拡大するにつれて地方においても徐々にではあるがそれぞれの企業独自のメリットを考えて受け入れる企業も増えている。この様にインターンシップは企業、大学のそれぞれ事情によりますます拡大する傾向にあるが、企業側のインターンシップに対する共通の考え方としては以下のようなものである。

①インターンシップはできる限り多くの学生に企業の実態を理解してもらうことが目的。

②インターンシップと採用とは直接関係はない。(参加する条件に合ったものがある)。

③学生はどのようなことを知りたのか、どのような経

籍に対する深い理解をもった図書館司書を一人でも多く育てて社会に送り出したと考えている。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

の共有財産として使用することに大変意義があると考へ、本学はこの宣言に同意した。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

本学は、平成20年度入試から、過去に出題された入試問題を使用することができ、「入試過去問題活用宣言」大学に参加する。これまで、それぞれの大学入試に使用された入試問題は膨大な数で、その中には、良問が蓄積されており、これらの入試問題をお互いに

入試過去問題活用宣言大学に

平成20年度入試概要

入試種別

(1) AO入試
全学部で実施
応募は、原則として、通年で可能

(2) 自己推薦入試
薬学部・香川薬学部・短期大学部を除く全学部で実施
応募期間は次の通り
I期 9月1日(土)～9月26日(火)
II期 平成20年2月16日(土)～3月17日(月)

(3) 推薦入試
I期 11月3日(土)
香川薬学部を除く全学部
II期 11月4日(日) 香川薬学部のみ
12月8日(土)
薬学部・工学部・文学部のみ(福岡・大阪・東京で実施)

(4) 一般入試
前期A日程 平成20年1月30日(火)
前期B日程 平成20年1月31日(水)
後期A日程 平成20年2月19日(火)
後期B日程 平成20年3月7日(金)
後期C日程 平成20年3月25日(火)

平成20年度入試からの変更点

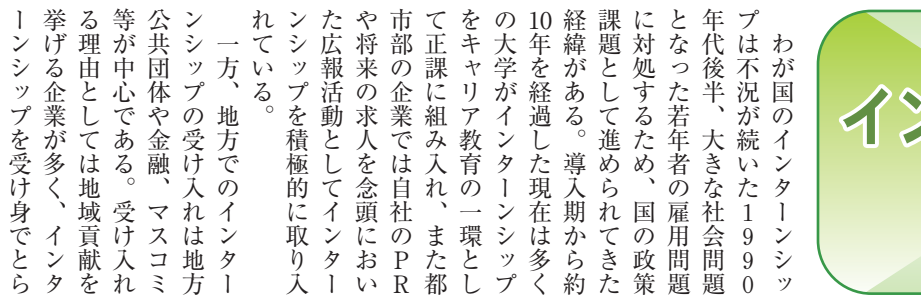
- 新たにAO入試を導入し、受験生の個性をいかして受験できる入試をはじめました。
- 薬学部・工学部・文学部で推薦入試II期(福岡試験場・大阪試験場・東京試験場のみ)をおこないます。
- 推薦入試、一般入試科目を検討し、薬学部・香川薬学部・音楽学部・短期大学部音楽科で変更になりました。
- 大学入試センター試験利用入試が前期・後期(2回)からI期・II期・III期(3回)になりました。

インターネットによる出願

インターネットによる出願ですべての出願日・会場での受験が可能になります。詳しくは、本学のホームページへアクセスしてください。

<http://www.bunri-u.ac.jp/>

合否結果もインターネットを利用して確認することもできます。



わが国のインターンシップは不況が続いた1990年代後半、大きな社会問題となった若年者の雇用問題に対処するため、国の政策課題として進められてきた経緯がある。導入期から約10年を経過した現在は多くの大学がインターンシップをキャリア教育の一環として正課に組み入れ、また都市部の企業では自社のPRや将来の求人念頭において広報活動としてインターンシップを積極的に取り入れている。

一方、地方でのインターンシップの受け入れは地方公共団体や金融、マスコミ等が中心である。受け入れる理由としては地域貢献を挙げる企業が多く、インターンシップを受け身でたら

えている傾向がある。しかし近年インターンシップが定着、拡大するにつれて地方においても徐々にではあるがそれぞれの企業独自のメリットを考えて受け入れる企業も増えている。この様にインターンシップは企業、大学のそれぞれ事情によりますます拡大する傾向にあるが、企業側のインターンシップに対する共通の考え方としては以下のようなものである。

①インターンシップはできる限り多くの学生に企業の実態を理解してもらうことが目的。

②インターンシップと採用とは直接関係はない。(参加する条件に合ったものがある)。

③学生はどのようなことを知りたのか、どのような経

籍に対する深い理解をもった図書館司書を一人でも多く育てて社会に送り出したと考えている。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

の共有財産として使用することに大変意義があると考へ、本学はこの宣言に同意した。

平成20年度一般入試(前期・後期日程)の学力検査問題の作成にあたっては、次の2点に配慮する。

1 本学のアドミッシヨン・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがある。必ず使用するとは限らない。

2 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもある。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表する。

「入試過去問題活用宣言」運営方針に従い、今年度より入試を行うこととしている。

本学は、平成20年度入試から、過去に出題された入試問題を使用することができ、「入試過去問題活用宣言」大学に参加する。これまで、それぞれの大学入試に使用された入試問題は膨大な数で、その中には、良問が蓄積されており、これらの入試問題をお互いに

入試過去問題活用宣言大学に

平成20年度入試概要

入試種別

(1) AO入試
全学部で実施
応募は、原則として、通年で可能

(2) 自己推薦入試
薬学部・香川薬学部・短期大学部を除く全学部で実施
応募期間は次の通り
I期 9月1日(土)～9月26日(火)
II期 平成20年2月16日(土)～3月17日(月)

(3) 推薦入試
I期 11月3日(土)
香川薬学部を除く全学部
II期 11月4日(日) 香川薬学部のみ
12月8日(土)
薬学部・工学部・文学部のみ(福岡・大阪・東京で実施)

(4) 一般入試
前期A日程 平成20年1月30日(火)
前期B日程 平成20年1月31日(水)
後期A日程 平成20年2月19日(火)
後期B日程 平成20年3月7日(金)
後期C日程 平成20年3月25日(火)

平成20年度入試からの変更点

- 新たにAO入試を導入し、受験生の個性をいかして受験できる入試をはじめました。
- 薬学部・工学部・文学部で推薦入試II期(福岡試験場・大阪試験場・東京試験場のみ)をおこないます。
- 推薦入試、一般入試科目を検討し、薬学部・香川薬学部・音楽学部・短期大学部音楽科で変更になりました。
- 大学入試センター試験利用入試が前期・後期(2回)からI期・II期・III期(3回)になりました。

インターネットによる出願

インターネットによる出願ですべての出願日・会場での受験が可能になります。詳しくは、本学のホームページへアクセスしてください。

<http://www.bunri-u.ac.jp/>

合否結果もインターネットを利用して確認することもできます。

インターンシップを終えて

以前から接客業に興味があり、仕事内容が知りたかったので、ホテルでのインターンシップに参加させていただきました。ホテルではさまざまな業務があり、フロントでの仕事内容の見学・宴会場での配膳やいす並べ・レストランでの接客を体験しました。

フロントでの見学では、電話対応やキーの受け渡しなど、コミュニケーションが重要な業務だと実感しました。

短い期間でしたが、日々学ぶことが多くありました。担当の方には、「あいさつ、笑顔、周りのコミュニケーションのとり方がすごく大事だから、これからもこの3つを忘れないで頑張ってください。」と指導いただき、とても貴重な体験ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

配膳をしたり、いすをすばやく並べ替えたり、てきぱき要領良く動くことが求められました。レストランでは、バイキング形式の店だったので、主にお客様のあった食器を下げる仕事をさせてもらいました。直接お客様に「ありがとう」と言われる喜びを、改めて感じました。

本学では、3年次編入学の制度を設けています。本学短期大学部はもろろんのこと、学外の短期大学、大学からも多数の受験生を受け入れていきます。平成20年度からは、新たに薬学部・香川薬学部でも受け入れることになりました。

本年の試験日程は次の通りです。

人間生活学部・保健福祉学部・音楽学部・総合政策学部・工学部・文学部・香川薬学部

平成20年度編入学試験概要

編入学試験概要

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

平成20年度編入学試験概要

編入学試験概要

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

平成20年度編入学試験概要

編入学試験概要

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

試験日

出願期間

クラブ・サークル 大会結果

◎第58回四国地区大学総合
体育大会結果
大会総合成績
徳島文理大学
第6位(22点)

- 弓道(女子) 第3位
- 団体 第3位
- 個人 第2位
- 増田涼子(人間生活学部1年)
- 部1年
- 弓道(男子) 第3位
- 団体 第3位
- バレーボール(女子) 第3位
- 団体 第3位
- ソフトテニス部(女子) 第3位
- 卓球(男子) 第6位
- 団体 第3位
- 柔道(男子) 第3位
- 団体 第3位
- 柔道(女子) 第3位
- 個人 第3位
- 林由布子(薬学部2年)
- 少林寺拳法
- 総合 優秀



水上スキー部

私たち水上スキー部は、土日祝と休みなく活動しています。シーズンオフとなっている論田町の勝浦川では一年中活動ができるので、冬でも休むことなく頑張っています。

今、水上スキー部に所属している学生のほとんどが大学に入って始めた人ばかりであり、上達するのに時間のかかる競技なので、練習量の多さと鍛えられた精神力により、5月26日〜27日に行われたチャンピオンシリーズ・スラローム部門で男子団体優勝、主将の藤村昌弘が個人優勝しました。

昨年のインカレではおしくも3位だったのですが、インカレ後に「このくやしさをバネに優勝する」と一致団結しました。

このチャンピオンシリーズとはインカレの調整を行うための大会です。そのチャンピオンシリーズで優勝

団体演武の部 優良
単独演武段外の部(男子) 優良
大西正訓(工学部2年)

- 組演武有段の部(男子) 優良
- 中川亮亨(香川薬学部2年)
- 鹿庭達希(文学部4年)
- 組演武段外の部(女子) 優良
- 渡邊裕美(文学部2年)
- 河野梨紗(文学部2年)
- 組演武段外の部(女子) 優秀
- 鈴木貴恵(文学部2年)
- 山本晶代(香川薬学部2年)
- 単独演武段外の部(女子) 最優秀
- 向井理沙(香川薬学部2年)
- チャンピオンシリーズ第1戦(5月26日〜27日)
- スラローム男子団体 第1位
- スラローム 第1位
- 藤村昌弘(総合政策学部3年)
- スラローム 第5位
- 田原将人(人間生活学部2年)
- スラローム 第8位
- 平野琢也(人間生活学部2年)
- スラローム 第10位
- 平野琢也(人間生活学部2年)

文理大学連が「はなはるフェスタ」で4連覇

私たち徳島文理大学連は、みんな仲良く、連員数は総勢100人を超えています。そのうちの半数以上が県外出身で、徳島で初めて阿波踊りに触れた人も大勢います。

時には意見をぶつけあうこともあり、みんな「阿波踊りが大好きだ!」という気持ちは同じで阿波踊りの練習に励んでいます。

今年の春には徳島で行われた、はなはるフェスタの阿波踊りコンテストに出場しました。構成がなかなか決まらず、朝までみんなで思索する日々が続きました。

踊り子は、鳴り物に合わせ、見ている人を笑顔にできるような踊りをめざしています。女踊りは、足を勢い良く蹴り上げ元気に笑顔で踊り、男踊りは、自由奔放に楽しく踊り、鳴り物は、みんなの気持ちをひとつにするような鳴り物をめざしています。

夏が終わっても、地域の保育園や福祉施設、徳島ヴォルティスのホームゲームなどで踊らせていただいています。1年中が阿波踊りです。

町で見かけたら、若さあふれる徳島文理大学連の踊りをぜひご覧ください。



大学祭

山城祭
杏樹祭

第43回 山城祭 (徳島校)

「Masterpiece」名作という意味があり、学生や山城祭に来て下さった方々にとって心に残る学園祭(傑作)にしたいという実行委員の熱い思いが込められています。

第22回 杏樹祭 (香川校)

「NEXT」 今回のテーマには一つ

の課題をやり遂げたら、そこに立ち止まらずに皆で次へと前進していきましょう。向上心を持つという意味が込められています。

オープンキャンパス



第1回オープンキャンパスを6月30日(香川キャンパス)、7月1日(徳島キャンパス)に開催した。当日は、多くの高校生や保護者などが参加し、クラブ・サークル見学や在学生とともに学科体験を楽しむ姿が見られた。参加者からは、「実行委員や在学生と話ができてよかった」「施設・設備が見学できてよかった」と満足した様子であった。8月、10月のオープンキャンパスも入試や奨学金、カリキュラムについての相談ができる「相談コーナー」や学部学科の教員や在学生と触れ合いながら、授業、実験・実習などを体験することができる「体験学習」の他にも「入試対策講座」や「学食体験」、「ミニコンサート」など趣向を凝らした企画を計画している。ぜひ足を運んで体験していただきたい。

販売開始

学生プロデュースによる オリジナルファイルケース

人間生活学部 メディアデザイン学科

「徳島文理大学オリジナルファイルケース」が、学内のファミリーマートおよび購買で、4月より販売されている。

この商品は、メディアデザイン学科古本ゼミナールの学生が、企画から商品化

「徳島文理大学を世界に向けて発信したい」という、学生たちの強い願いが込められた商品で、色はブルー、ピンク、透明の3色から選ぶことができる。大変好調な売れ行きで、現在新しい商品を開発中である。



「おぎや」と21」に参加して

人間生活学部児童学科 岡山 千賀子 講師

はぐくみ徳島主催の「次世代育成支援事業おぎや」と21」に本学児童学科の学生とともに参加させていた。今年で4年目になります。次代を担う学生や子どもたちを健全に育成するという趣旨は、大変重要な取り組みであると思っています。

毎年本事業への学生の関わりは、2通りあります。一つは2ブースでテーマに合わせた遊びのスペースを約30人で構成しています。手作りのスペースは、子どもだけでなく保護者の方にも楽しんでもらえるよう大変工夫されています。約3カ月の日々を費やして、壁面や遊具を完成させます。

もう一つは、運営サイドのボランティアです。会場の案内からゴミ収集に至るまで、約100名が裏方の仕事に従事しています。来場される方が少しでも心地よく過ごしていただけるよう、先輩から後輩に徹底した心配りの教育が自主的にされています。



特にOBの皆さんは、これまでの全てを担当した、徳島文理大学で初めての「学生発 大学ブランド商品」である。

学科の専門科目であるマーケティングの知識を十分にいかし、約600名の学生および教職員に対して、1年半にわたるニーズ調査を行った結果、誕生した。

表の模様は、9つの学部が調和を取りながら発展していく様子を表し、裏には本学の建学の精神である「自立・協同」(Independence & Cooperation)と学園創立年(since 1895)が記されている。